

刻々と変化している激動の時代に不動産業界はどう対応すべきか

— 2020年のオリンピックに向けて グローバルな日本になる為の対策 —

(株)キーメイト 渡辺商事
代表取締役社長 渡辺 隆
— 宅地建物取引士・賃貸不動産経営管理士 —

今年のゴールデンウィークの休日に、丸の内のミュージアムから皇居及びその周辺エリアを散策したのですが、本当に多くの外国人の方々が観光に訪れていることを改めて実感したものでした。ちなみに統計データでも、2016年実績で訪日外国人人数が2,000万人を突破し、政府は2020年の東京オリンピックに向けて、なんと倍の4,000万人を見込んでいる様で、その為の準備が着々と進んでいます。

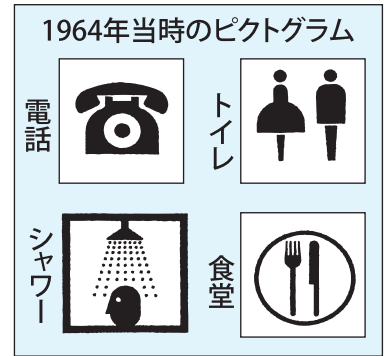
1964年の東京オリンピック時に初めて開発されたピクトグラム(場所や物をデザイン化した記号)や交通案内記号等が半世紀を超えて世界標準になるために見直しが実施されている様なので取り上げて調べてみました。

また時代の移り変りと共に、「団塊世代」「バブル世代」「団塊ジュニア世代」等の言葉が生まれてきましたが、今回の「ミレニアル世代」(1980～2000年初頭迄に生まれた世代)や「つくし世代」(1986年4月以降生まれの現在29歳以下の世代)に代表される若者達は、生まれた時より低迷する経済環境しか知らず、今後についても過大な期待を持つことができないという特性を持っている様で、反面「ITの進化による便利さ」には、子供の頃から慣れているという世代なのであります。

そんな、これからの日本を背負ってくれることになる若者達を中心に、近年さかんに使われるようになってきたインターネット環境下における様々なシステムの省略されたアルファベット文字(IT・AI・SNS・IoT・PC等々)の意味について具体的に取り上げて、特集でご紹介してみましたので参考にして下さい。

さらに下の日本地図のイラストにもあります様に、正に日本列島は地震列島であり、今迄も、そしてこれからもいつ大地震が発生するか誰もわからないのが現状であります。一日も早く地震予知の確率を高める為に、研究者達は日夜努力を重ねている訳で、我々国民の安全の為にも大いに期待しているところがございます。しかし、それまでの間に何もしない状態でXデーを待っているだけでは、国としてもその責任を果たしているとは言えませんので、少しずつでも都市計画による安全な街作りや、老朽化した木造住宅等保全の為に施工された「耐震改修促進法」に基づいて、各市・区・町・村レベルで、助成や補助金支給等による安全対策を進めているところなのであります。今回は江戸川区のシステムについて、「不動産の法律入門」でご報告致しております。

最後に、弊社「キーメイト」は、賃貸・管理の不動産会社と思われがちですが、実は売買についてもその実績を重ねており、相続のご相談をお受けした場合には、大規模な土地から小規模なものまで、信頼できるマンションデベロッパーや大手分譲業者さん方へ売却の斡旋を行なう事も含めて、分譲住宅の設計から設備のプロデュースなど事業内容も拡大しております。今回は「リノベーションのコーナー」で「キーメイトの新築土地付分譲住宅」を特集しました。売買についても「キーメイト」にご相談下さい。



巨大地震 予測に挑む

M9.1 南海トラフ地震の予想される震源域

死者 32万3000人
経済損失 220兆円
うち津波 23万人

津波避難対策特別強化地域
防災対策推進地域
*地理院は国土地理院 地理院系に所属

地震発生履歴

- 684年 白鳳(天武)地震
- 887年 仁和地震
- 1096-99年 永徳東海地震など
- 1361年 正平東海・南海地震
- 1498年 明応地震
- 1605年 慶長地震
- 1707年 宝永地震
- 1854年 安政東海・南海地震
- 1944-46年 昭和東南海・南海地震

① 音波で海底を観測

船から音波を出し、海底の観測点との距離を測って海底の動きを観測する

音波の反射時間から距離を計算

地震の際に大きく動く可能性がある場所が判明 (海上保安庁提供)

② DONET 地震観測システム

ケーブルで水圧などのデータを送る

観測点をケーブルで結び、地震計や水圧計などで地震や津波を監視

設置してある計測器

津波警報などをより早く出せる。予測研究にも活用 (防衛科学技術研究所提供)

③ 震源域を掘削

プレート境界付近に穴を掘る

地球深部探査船「ちきゅう」で海底に穴を掘って観測機器を設置し常に地下の動きを観測

大地震の発生予測に役立てる

サイエンス

デザイン: 渡辺 隆